

# 2017年2月期 第3四半期 決算補足資料

イオンデイライト株式会社 

2017年1月11日

## 業績概要

- 国内外でサービスの提供先を拡大し、**増収増益、過去最高益を更新**

売上高2,228億円 前年同期比105.8%、営業利益124億円 前年同期比104.1%

## 主な取り組み

- 国内では、複合施設、ホテル、物流センター、オフィスビル、病院等へサービスの提供を開始
- グローバルに事業を展開する製薬メーカーに対して、ファシリティに関するアウトソーシング業務全般を統合し管理・運営する統合的なファシリティマネジメント（IFM）サービスの提供を準備
- 病院を主なターゲットとして拡大してきた「衛生清掃」の他用途施設への展開を積極化
- カジタク、イオンコンパスなどの子会社の成長、並びに前期に完全子会社化した白青舎が寄与
- 中国では江蘇省蘇州市の大規模都市開発プロジェクト「高鉄新城プロジェクト」への参画を目的に市政府主導の不動産投資開発会社と合併会社を設立。同エリア内でのFM業務の集中的獲得を目指す

## 増収増益、過去最高益を更新

単位：億円

連結要約損益計算書 (単位：億円、%)	16/2月期3Q		17/2月期3Q		対前期増減	
	実績	構成比	実績	構成比	前期差	前期比
売上高	2,106	100.0%	2,228	100.0%	121	105.8%
売上総利益	275	13.1%	288	13.0%	13	104.9%
販売管理費	155	7.4%	164	7.4%	8	105.6%
営業利益	119	5.7%	124	5.6%	4	104.1%
経常利益	120	5.7%	124	5.6%	4	103.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	69	3.3%	76	3.4%	6	109.5%

## 7事業で前年比増。清掃事業、サポート事業で2桁成長

単位：億円

連結 (単位：億円)	16/2月期3Q	17/2月期3Q	
	実績	実績	前期比
設備管理	365	380	104.2%
清掃	351	400	113.8%
警備	281	304	108.4%
建設施工	359	366	102.0%
サポート	129	145	111.9%
資材	375	386	103.0%
自販機	244	245	100.2%
売上高合計	2,106	2,228	105.8%

## 設備管理事業

空調熱源設備・冷凍冷蔵設備の不具合改修業務、並びに環境負荷低減に繋がるフロン管理代行業務の受託を拡大。フロンガス漏えいの予防保全に取り組む

## 清掃事業

施設毎の特性を踏まえた新たな清掃品質基準を構築。清掃資機材の販売促進、環境に配慮した資機材の開発と使用普及に取り組む

## 警備事業

顧客拡大に向けた営業強化と共に、課題である人手不足の解消、並びに品質の向上を目的にIoTを活用した省人化システムの開発を進める

## 建設施工事業

設計・デザイン分野の体制を強化。商業施設のテナント改装工事、維持・修繕工事に加えLED工事をはじめとした省エネ改修工事の受託を拡大

## 資材関連事業

新規・既存顧客いずれも順調に取引を拡大。需要予測の精度向上により在庫保管費の削減、物流コストの削減等、収益性改善にも取り組む

## 自動販売機事業

既存自販機の設置拡大を図ると共にデジタルサイネージ型自販機の展開を積極化。動画広告枠の提供拡大、並びに多言語対応化を進める

## サポート事業

イオンコンパス(株)では、BTM(国内出張マネジメント・海外赴任サポート)など法人事業が好調。国内外連結子会社の成長が貢献

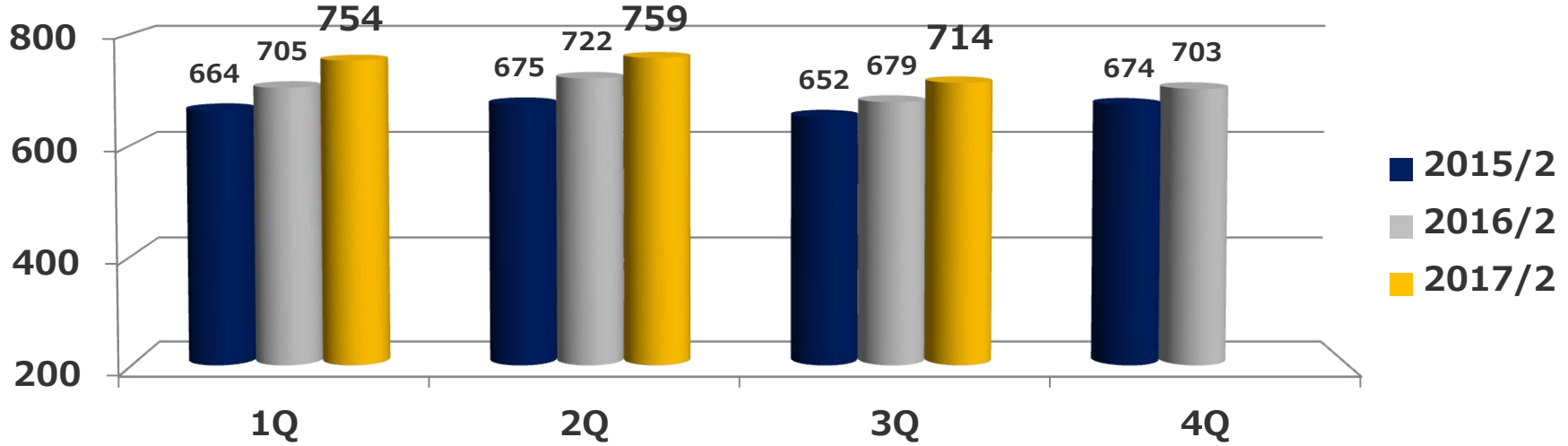
# 連結貸借対照表

資産の部 (単位：億円)	16/2月期	17/2月期 第3 四半期	増減	負債・純資産の部 (単位：億円)	16/2月期	17/2月期 第3 四半期	増減
流動資産	1,056	1,110	53	流動負債	448	453	5
有形固定資産	70	79	8	固定負債	25	28	3
無形固定資産	103	95	▲8	負債合計	473	482	8
投資等	81	86	4	株主資本	810	859	48
固定資産	256	261	5	純資産合計	840	889	49
資産合計	1,313	1,371	58	負債・純資産合計	1,313	1,371	58

# 過去3カ年の四半期推移 売上高

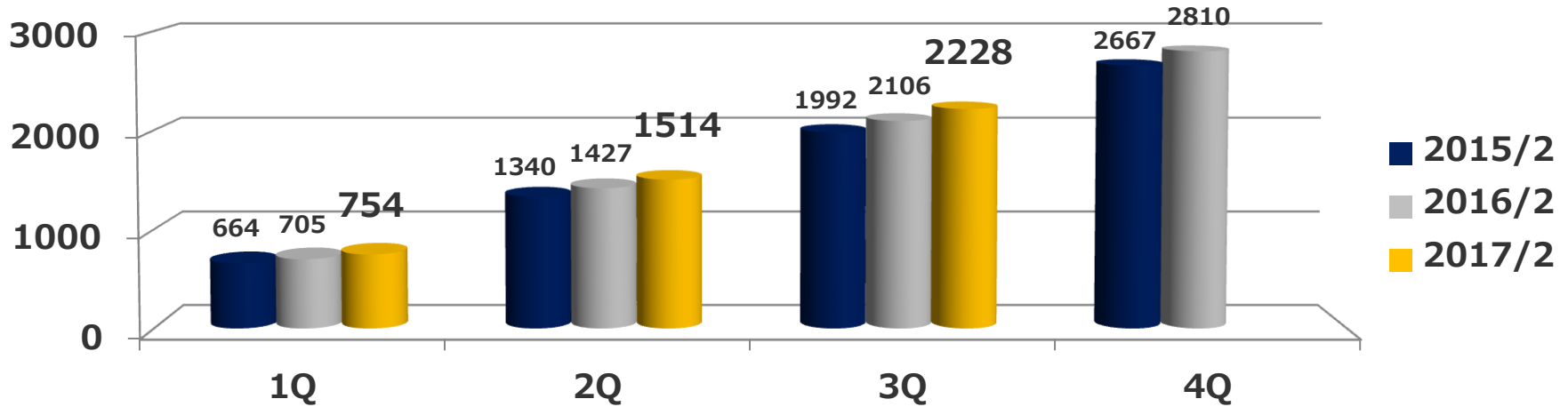
## 四半期 期間売上高推移

(単位：億円)



## 四半期 累計売上高推移

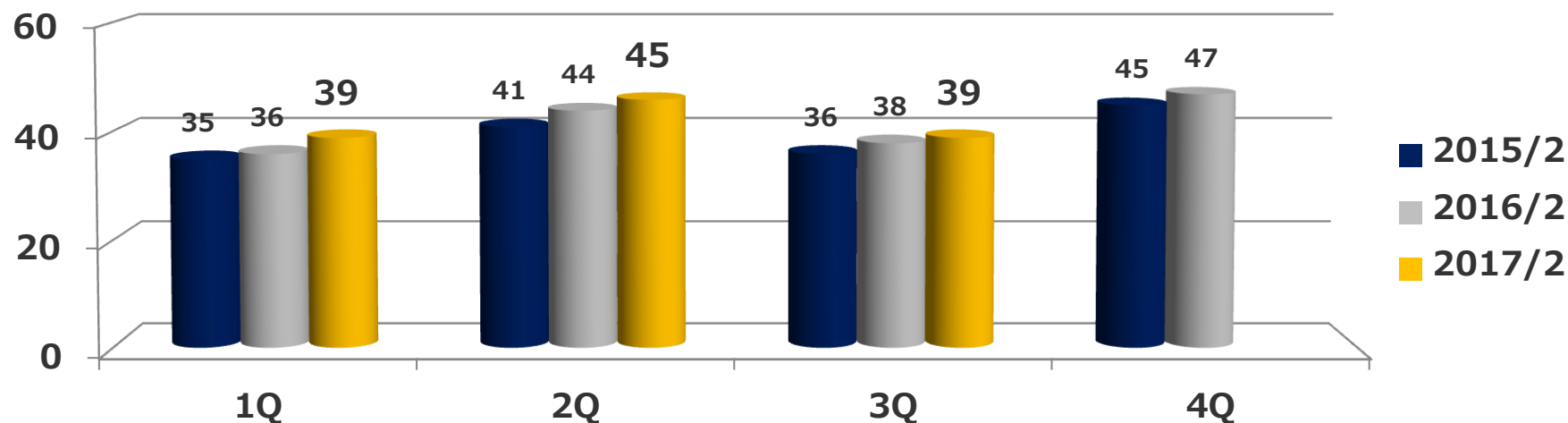
(単位：億円)



# 過去3カ年の四半期推移 営業利益

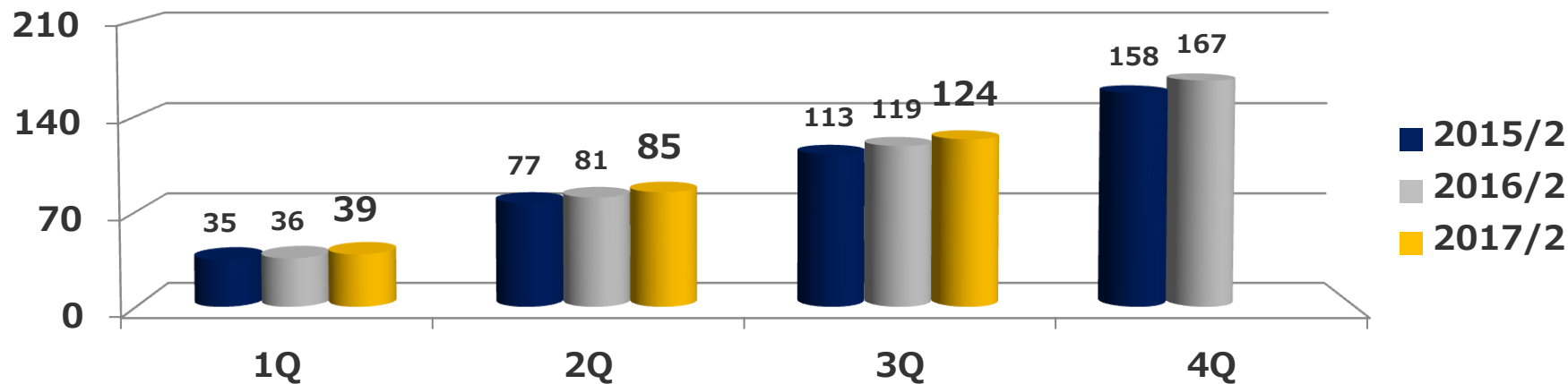
## 四半期 期間営業利益推移

(単位：億円)



(単位：億円)

## 四半期 累計営業利益推移





## ■ 国内での取り組み

### 営業

- ・ 12月より大手製薬メーカーに対し、IFMの提供を開始
- ・ 病院をターゲットとしてきた「衛生清掃」を他用途施設へ展開
- ・ 1月より外資系IT企業の国内研究所へサービスの提供を開始

### 建設施工

商業施設 テナント入れ替え工事、内装・デザイン工事の受託拡大

### 資材関連

イオングループ各社の資材集約化、トップバリュ包材の受託拡大

## ■ 海外での事業拡大

### 中国

- ・ 高品質なサービスが求められる中高級施設の受託拡大
- ・ 再開発エリアでのFM業務の集中的な獲得
- ・ 武漢で地場企業との合併によるケータリングビジネス立ち上げを準備

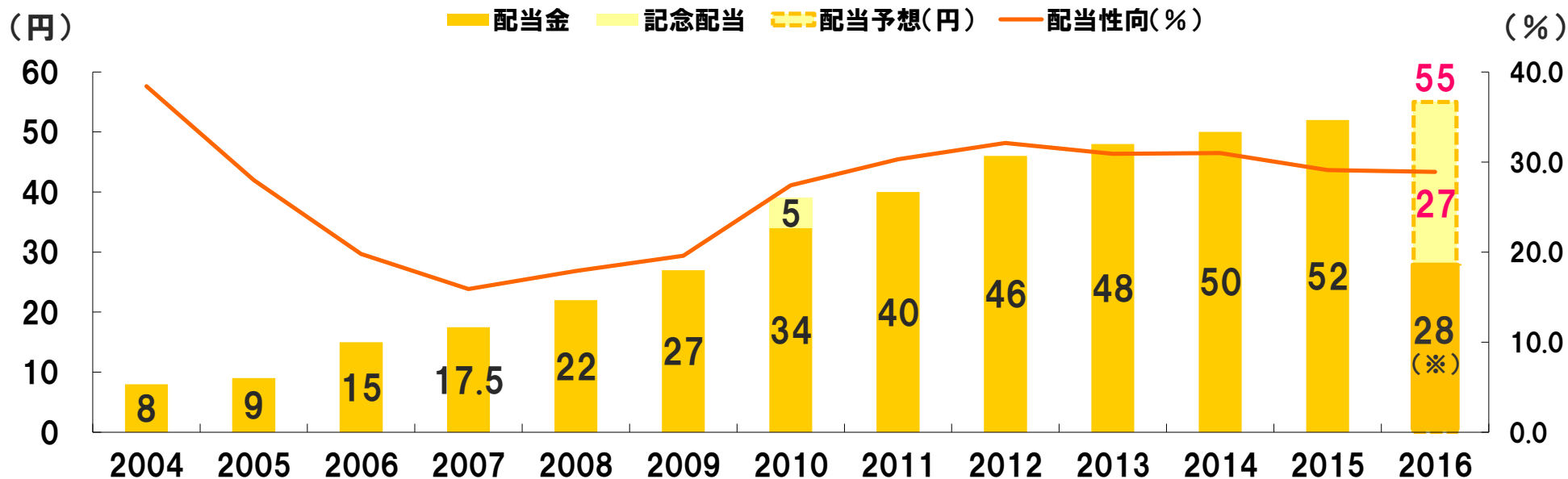
### アセアン

- ・ マレーシアでは常駐設備管理の受託を拡大
- ・ ベトナムでは体制強化により顧客基盤を拡大
- ・ インドネシア、タイなど新たなエリア進出に向けた調査

連結要約損益計算書 (単位：億円、%)	17/2月期			16/2月期	
	実績	構成比	前年比	実績	構成比
売上高	3,050	100.0%	108.5%	2,810	100.0%
営業利益	175	5.7%	104.7%	167	5.9%
経常利益	175	5.7%	104.9%	166	5.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	100	3.3%	103.5%	96	3.4%

## 2005年度以降、12期連続の増配を目指します

年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
配当額 (円)	8.0	9.0	15.0	17.5	22.0	27.0	39.0	40.0	46.0	48.0	50.0	52.0	55.0
配当性向 (%)	38.4	28.0	19.8	15.9	17.9	19.6	27.4	30.3	32.1	30.9	30.1	28.3	28.9



※ 中間配当予想28円には、記念配当1円が含まれます

- この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
  - ◇ これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。
  - ◇ 全て連結を対象として記載
  - ◇ 記載金額は億円未満を切り捨て
  - ◇ 比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社  
(証券コード：9787)

IR担当連絡先 部署名：グループ戦略本部

責任者名：京本 明志

TEL 043-351-2563

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

本日、発表した内容につきましては発表日当日（2017年1月11日）に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。